

Canon

パワープロジェクター

LV-X2

使用説明書



J
日本語版

このたびはキャノン製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

保証書別添付

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

本製品は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

This LCD Projector is designed for use in Japan only
and cannot be used in any other country.

パワープロジェクター LV-X2 の特長

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応、SXGAにも圧縮対応

狭い場所でも大画面投写可能なワイドズームレンズを搭載

- クラス最高*倍率の1.4 倍ズームレンズの搭載により、2.8 m から 4 mの距離範囲で 100インチのスクリーン投写が可能。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの種類を判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「オート PC アジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投写できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータ モード時)
- 投写画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。上下の補正により設置範囲が拡大。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

小型・軽量・B5ファイルサイズ・コンパクトデザイン

- マグネシウム合金の採用によるキャビネットの剛性アップにより、キャビネットの小型化・軽量化を図るとともに、前面排気デザインの採用により、プロジェクターの快適操作を実現。

コンポーネント映像入力端子を装備

- DVD やHDTV などを高画質で再生。

天吊り、据置、リア投写など、さまざまな設置方法に対応

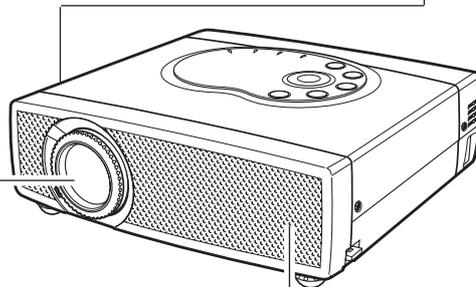
海外の映像システムにも対応する 6 カラーTVシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

* B5ファイルサイズ以下のプロジェクターにおいて。2002年9月20日現在。

満足の明るさと高精細大画面

- 約236万画素の高精細映像でXGAコンピュータ画面をリアル投写。
- 132W UHPランプの採用により、高輝度化を実現。
- 1.4 倍ワイドズームレンズ搭載により、狭い場所での大画面投写を実現。
- 29~200インチの大画面。

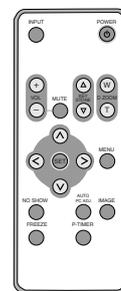


小型・軽量・前面排気デザイン

- マグネシウム合金の採用によるキャビネットの剛性アップにより、小型・軽量 (2.9 Kg、B5ファイルサイズ) で持ち運びに便利。
- プロジェクターの操作を快適にする前面排気デザインを採用。

充実のコンピュータ/ビデオ入力端子

- コンピュータ入力端子には、ミニD-sub 15ピン (アナログ) を装備。
- ビデオ入力端子には、コンポーネント映像、S 映像、コンポジット映像を装備。
- その他に、USB端子、コントロールポート端子、音声入出力端子を装備。



ワイヤレスリモコン

- プロジェクターの遠隔操作が可能。
- プレゼンテーション時に便利な P-TIMER (プレゼンテーションタイマー) 機能。

目次

安全上のご注意 4

準備 10

- 付属品を確認してください・・・10
- 本体各部のなまえ・・・11
- 設置のしかた・・・12
- 電源コードを接続する・・・14

操作の前に 15

- 本体操作パネルのボタン・・・15
- リモコンのボタン・・・16
- オンスクリーンメニューの操作方法・・・18

基本操作 20

- 電源を入れ画面を投写する・・・20
- 音量を調節する・一時的に消音する・・・22
- 画面を一時的に静止させる・・・23
- 画面を一時的に消す・・・23
- プレゼン時に経過時間を表示する・・・23
- 電源を切る・・・24

コンピュータ入力 25

- コンピュータ入力に切り換える・・・25
- コンピュータシステムを選択・・・25
- コンピュータシステムの調整・・・26
- コンピュータシステムモード一覧・・・29
- イメージの調整・・・30
- 適切な画像サイズに調整する・・・33

ビデオ入力 34

- ビデオ入力に切り換える・・・34
- カラーシステムや走査方式を選択する・・・35
- イメージの調整・・・36
- 画面のサイズを選択する・・・38

設定 39

- セッティングメニューの設定・・・39

接続 41

- 機器をつなぐ端子・・・41
- ビデオ機器を接続する・・・42
- コンピュータを接続する・・・43

付録 44

- 端子の仕様・・・44
- 内部の温度上昇について・・・45
- 光源ランプの交換・・・46
- 故障かなと思ったら・・・48
- 仕様・・・49
- 別売品・・・50

保証とアフターサービス 51

安全上のご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取扱いをしてください。

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

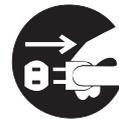
●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

警告

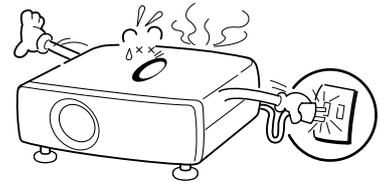
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が写らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

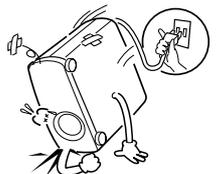
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



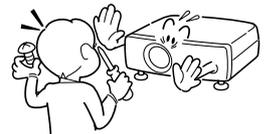
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

警告

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



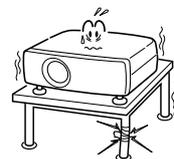
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



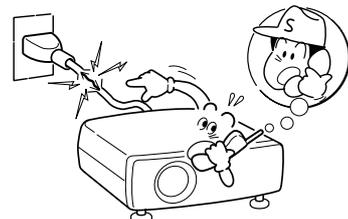
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止



- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

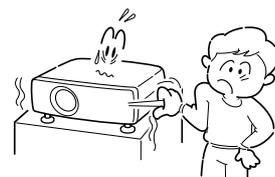
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

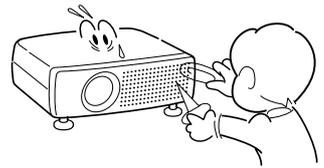


警告

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードのアース端子を設置してください。(詳しくは、14ページをご覧ください。)



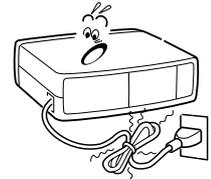
アース線を接続する

注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



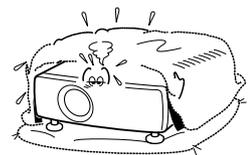
禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。設置のときは、壁などをファンの排気口から 1メートル以上空けてください。



禁止



次のような使い方はしないでください。

- * 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

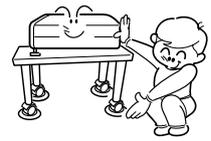
また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

⚠ 注意

- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



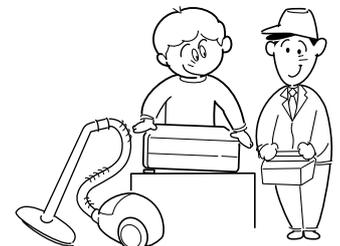
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、付属のキャリーバッグに納めて持ち運んでください。

車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。別売の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 付属キャリーバッグ使用上の注意 ●

付属のキャリーバッグは液晶プロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリーバッグは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れた液晶プロジェクターの上にもものを置かないでください。破損の原因となります。液晶プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、キャリーバッグに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 45ページを参照）

ご注意

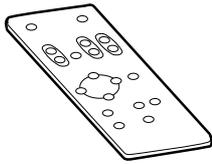
本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

This LCD projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

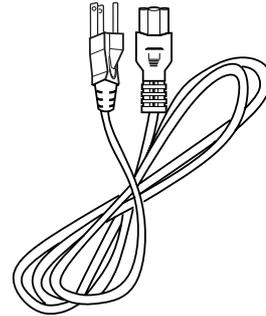
1 リモコン



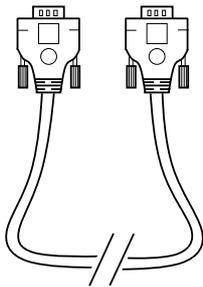
2 リモコン用リチウム電池
(リモコンに内蔵)



3 電源コード



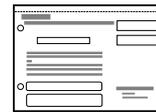
4 コンピュータ接続ケーブル
(DOS/V用)



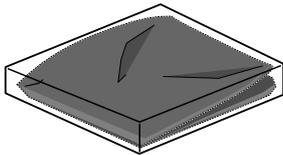
5 使用説明書 (本書)



6 保証書



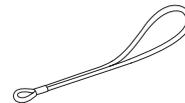
7 キャリーバッグ



8 レンズキャップ



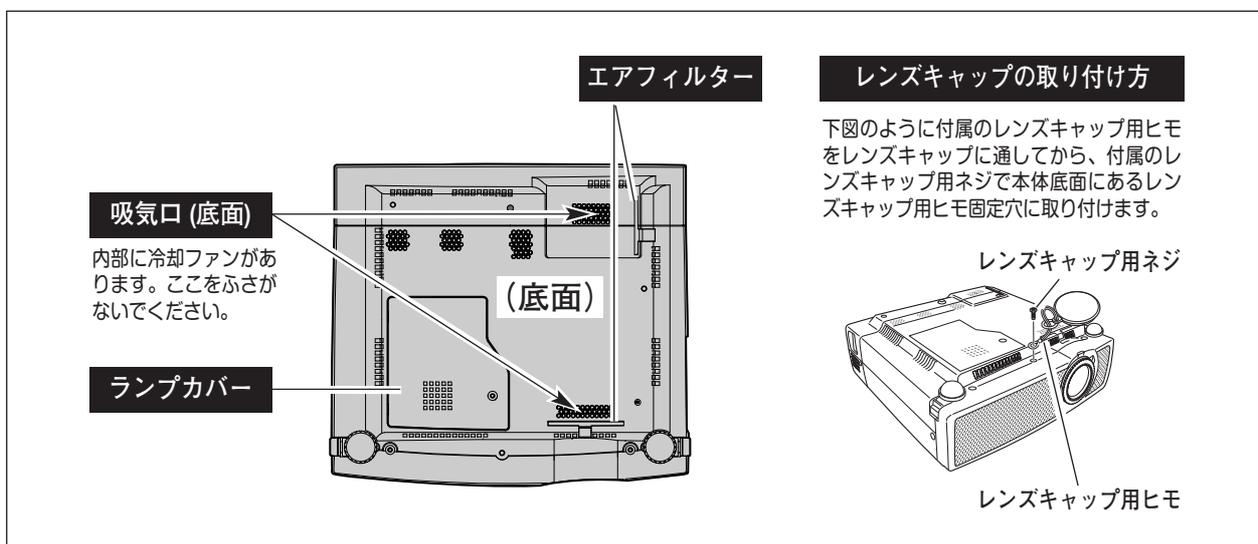
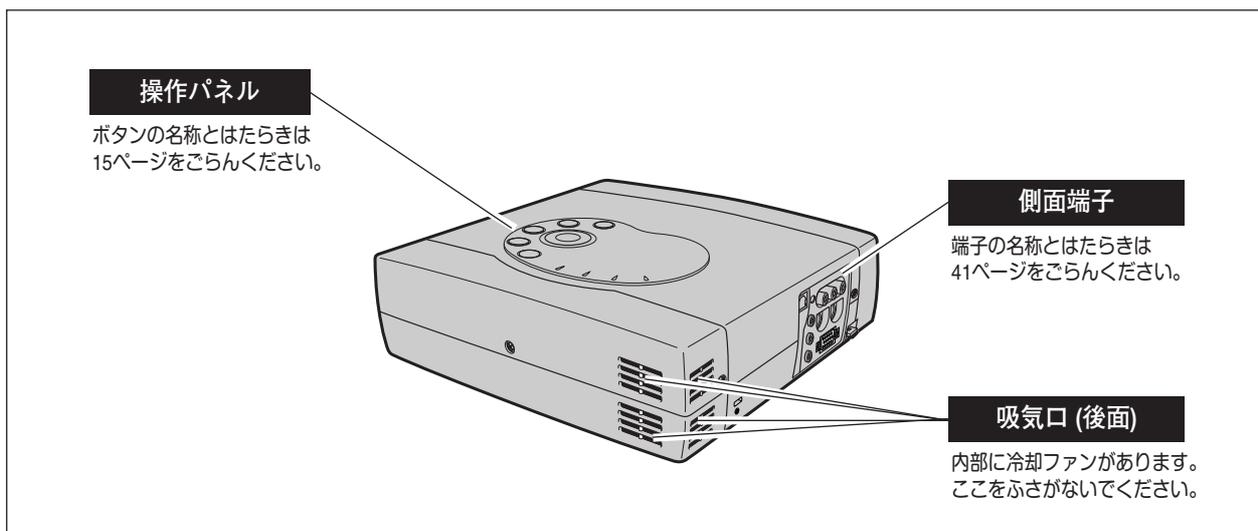
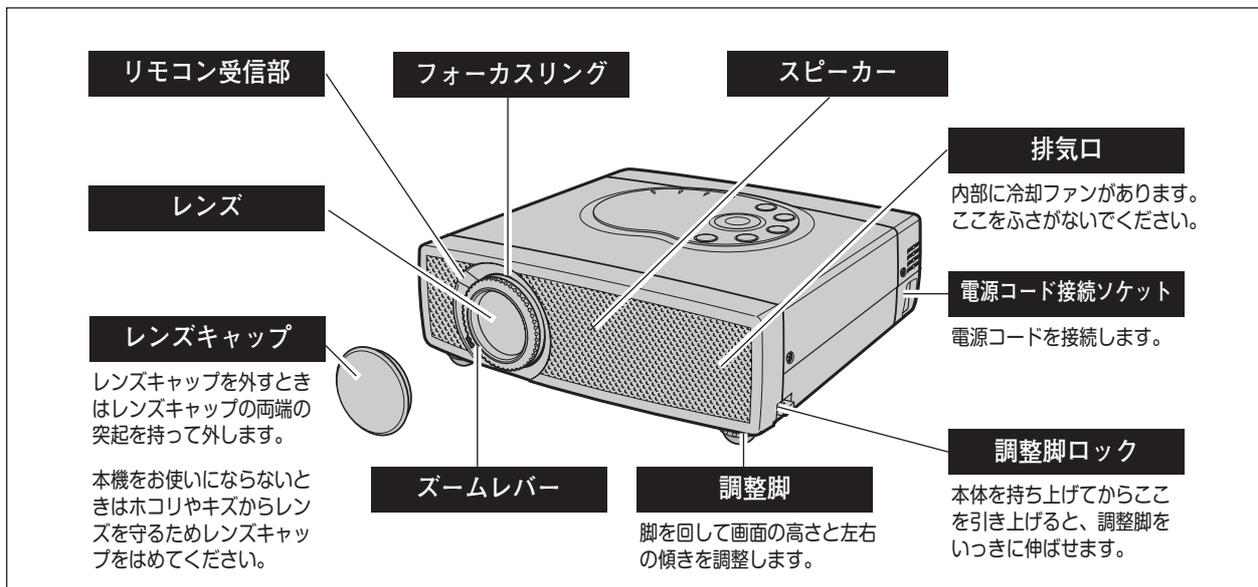
9 レンズキャップ用ヒモ



10 レンズキャップ用ネジ



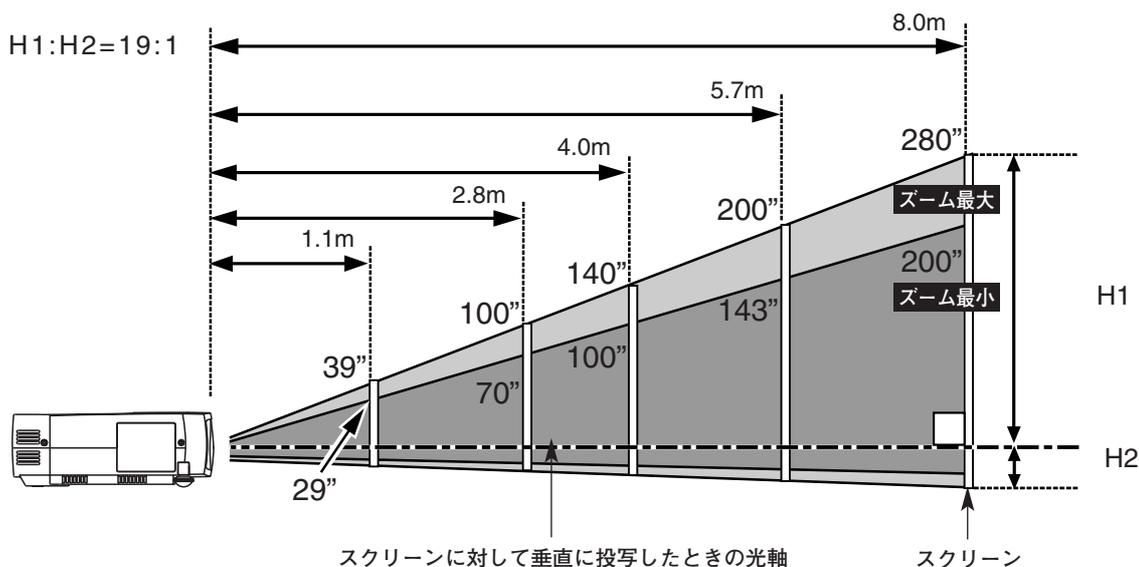
本体各部のなまえ



設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約 1.1m～8m の範囲に設置してください。



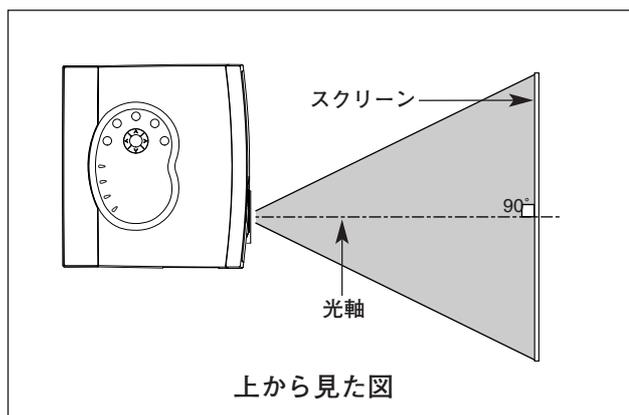
画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	29インチ	50インチ	100インチ	150インチ	200インチ
	589 x 442	1016 x 762	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048
投写距離 (ズーム最小)	1.1 m	2.0 m	4.0 m	6.0 m	8 m
投写距離 (ズーム最大)	—	1.4 m	2.8 m	4.3 m	5.7 m

※上表は 4 : 3 の画面サイズで、投写画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。(33、38 ページ参照)

※画面サイズは最大200インチでご使用ください。

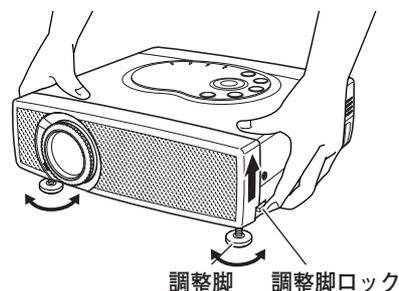
スクリーンに対して直角に設置する

投写したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



投写画面の高さと傾きを調整する

- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調整します。最大約10度まで上がります。



- 投写したときの光軸の上下方向の傾きは ±20度以内に ●
- スクリーンに対して光軸の上下方向の傾きが ±20度以内になるように投写してください。光軸の上下方向の傾きが大きいと、光源ランプの故障の原因となります。

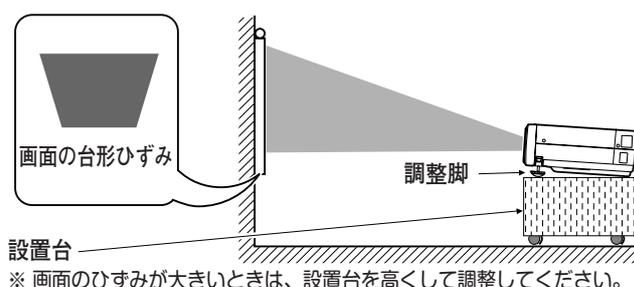


注意

- 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げると、投写角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(21、39ページ参照)



設置するときは次のことに注意してください

- 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



- こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。

- 使用温度範囲 ● 5°C～35°C ● 保管温度範囲 ● -10°C～60°C

- スクリーンと部屋の明るさ ●

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋ではカーテンを引くなどしてスクリーン周辺を暗くしてください。

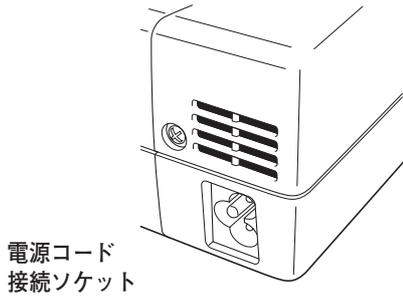
- 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が写るまでお待ちください。

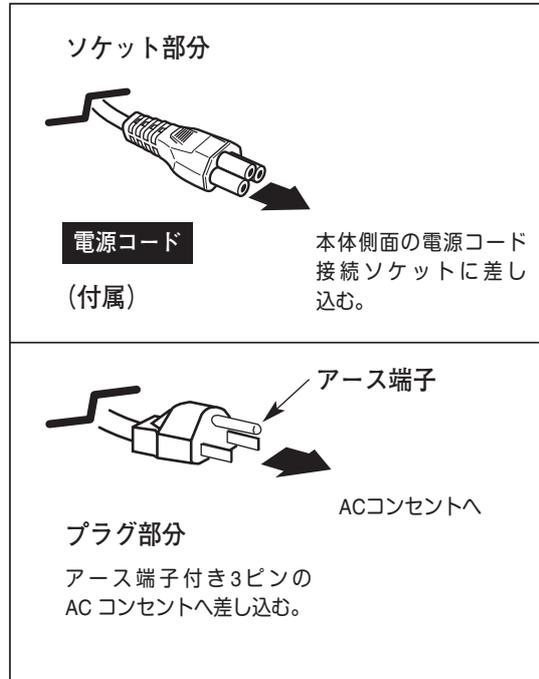
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、41～43ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの AC コンセントに差し込みます。



● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

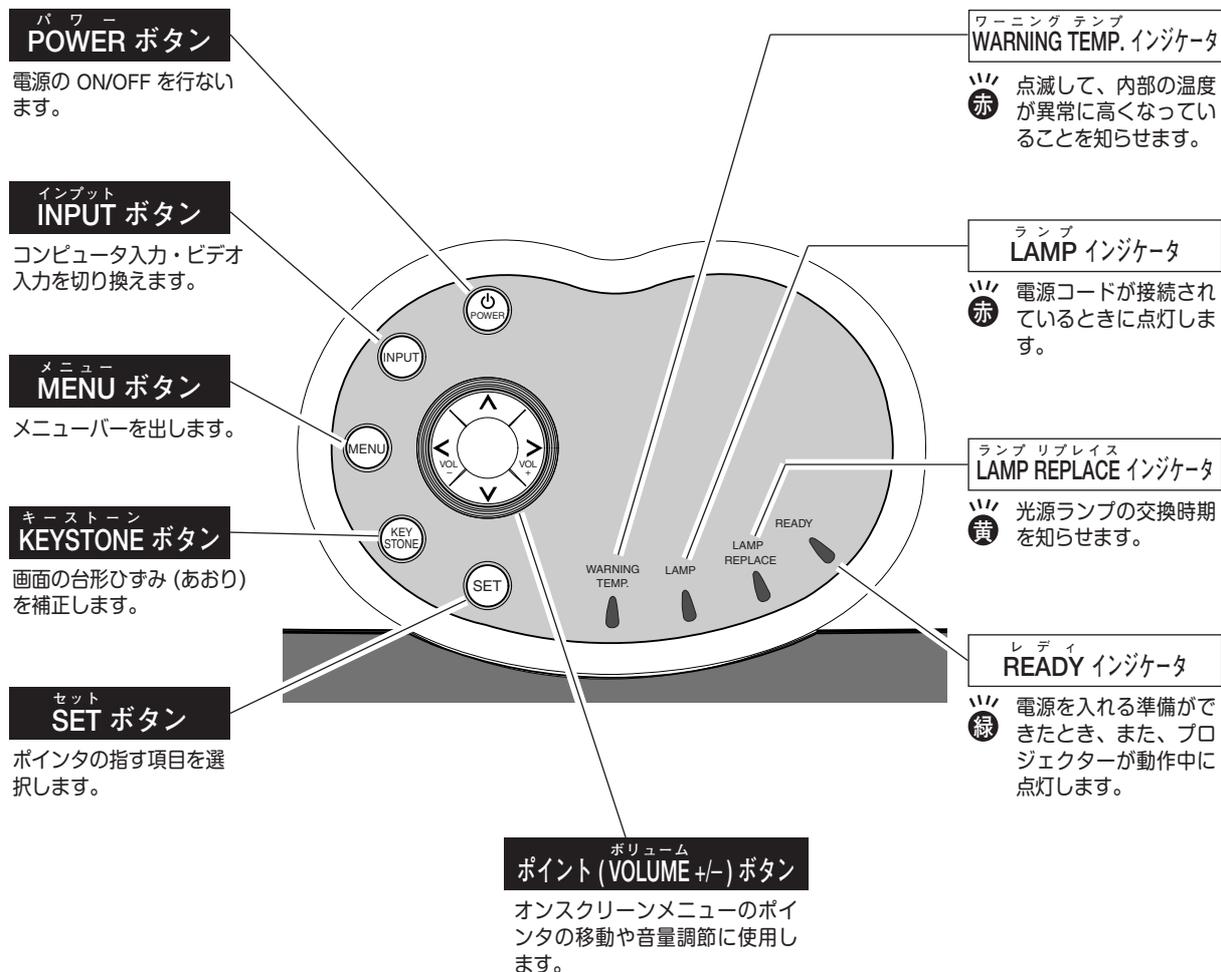
● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

本機は、操作パネルやリモコンの POWER ボタンで電源を切っても、約 13 W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグを AC コンセントから抜いてください。

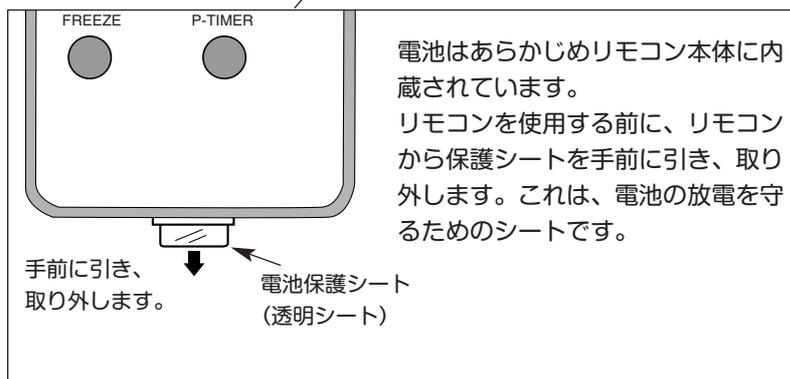
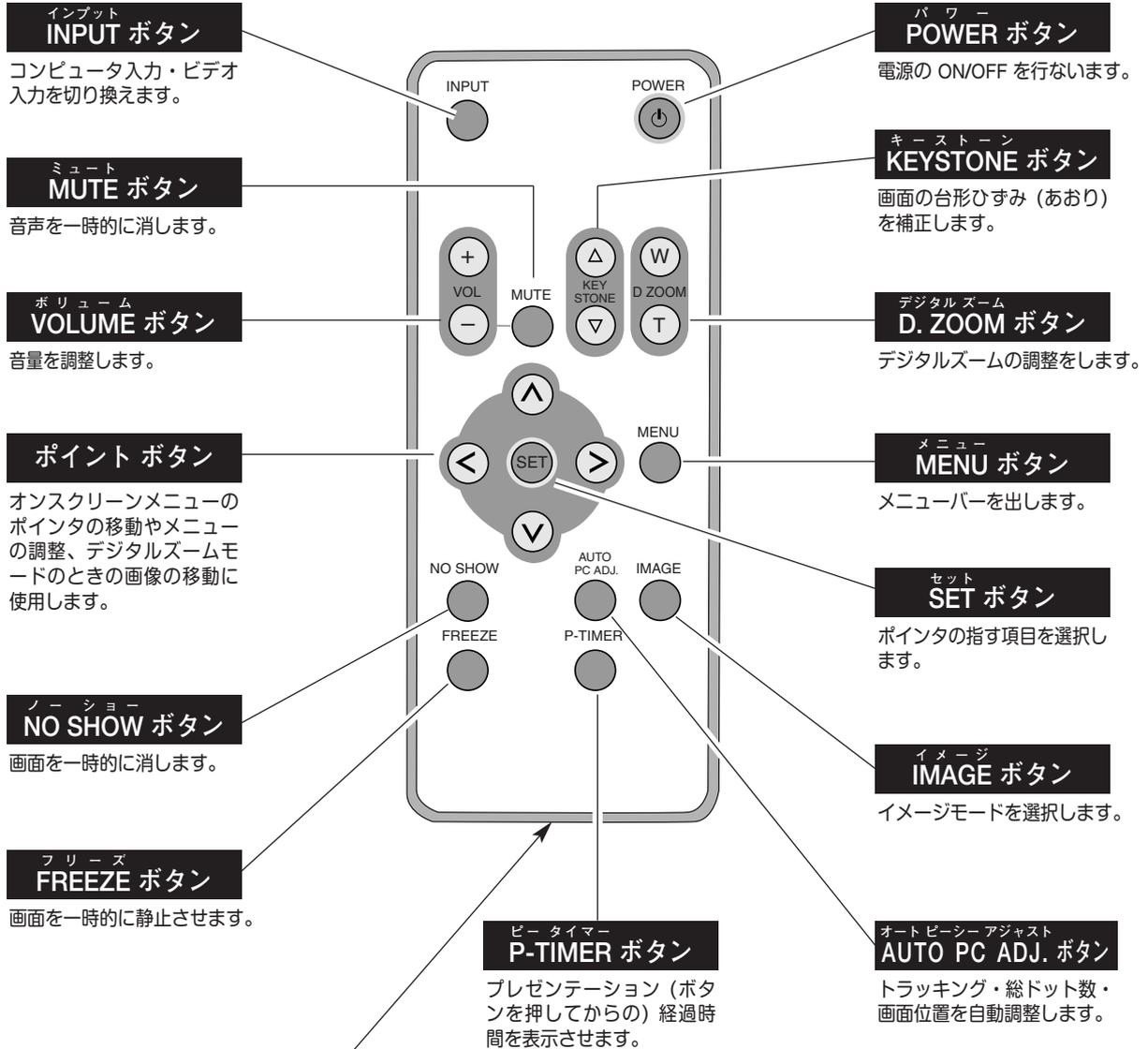


注意

本体操作パネルのボタン



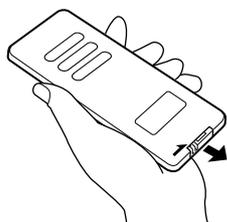
リモコンのボタン



電池の入れかた

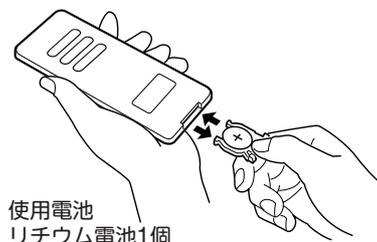
1 電池カバーを開けます。

矢印の方向に
引きます。



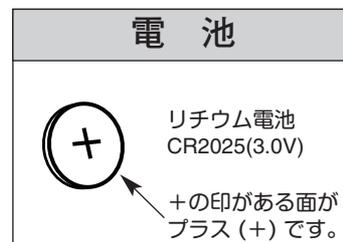
2 電池を入れます。

付属のリチウム電池をプラス、
マイナスに注意して入れます。



使用電池
リチウム電池1個

3 新しい電池を装着した電池ホルダーをリモコンに差し込みます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんど注意ください。

- ・ 指定の型名以外の電池は使わない。
- ・ 電池は充電しない。分解しない。
- ・ +極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・ 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・ 電池を廃棄するときは、各自治体の指示及び電池製造者の指示に従って廃棄してください。



注意

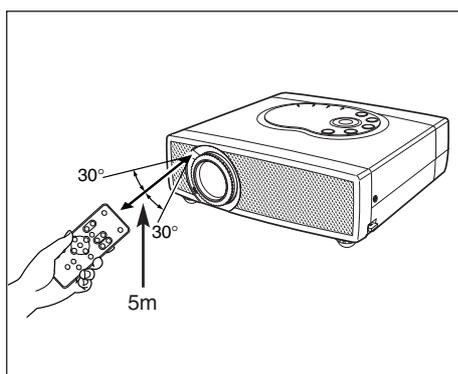


禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・ 長い間使わないときは電池をとりだす。
- ・ 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい電池を入れる。
- ・ 電池はお子さまの手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだりする恐れがあります。

リモコンで操作できる範囲



ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・ 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・ 液状のものをかけない。
- ・ 落としたり衝撃を与えない。
- ・ 熱や湿気をさける。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

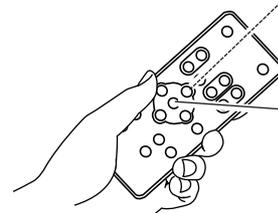
①ポインタの動かしかた

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SETボタンを押します。SETボタンはリモコンと操作パネルにあります。

(リモコン)



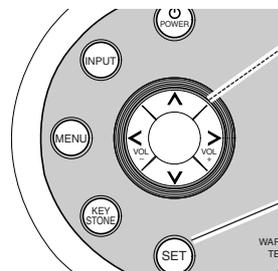
ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

SET ボタン

ポインタの指す項目を選択します。

(操作パネル)



ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

SET ボタン

ポインタの指す項目を選択します。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

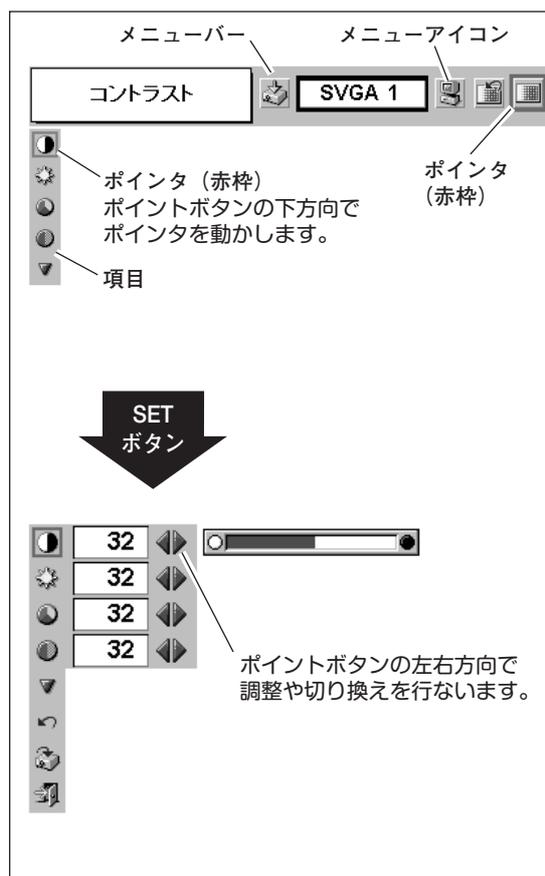
- 1 MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 2 赤い枠のポインタを、ポイントボタンの左右方向で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

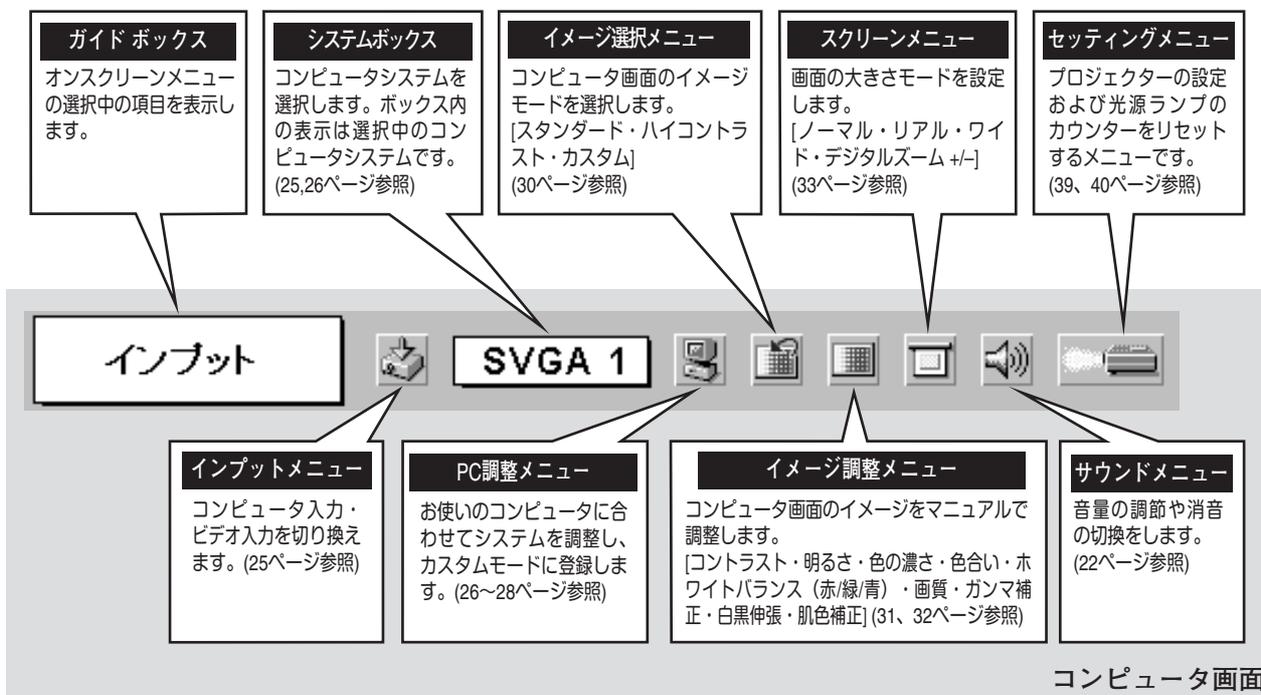
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- 4 SET ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 ポイントボタンの左右方向で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項を参照してください。

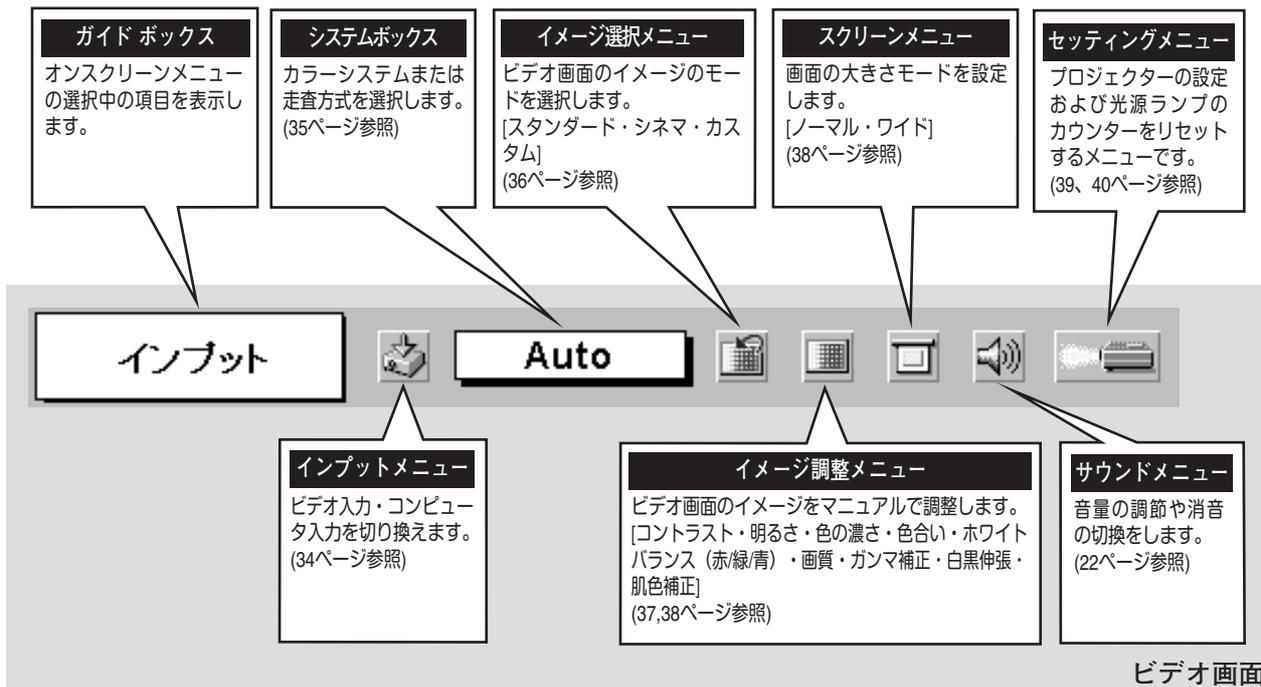


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー



基本操作

電源を入れ画面を投写する

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、41～43ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。(14ページ参照)
赤色の LAMP インジケータと緑色の READY インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの POWER ボタンを押して電源を入れます。
LAMP インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約 30 秒間のオープニング画面が終わると画像が写せます。

※セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。

● 電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は POWER ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。90 秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

本機は、操作パネルやリモコンの POWER ボタンで電源を切っても、約 13 Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグを AC コンセントから抜いてください。

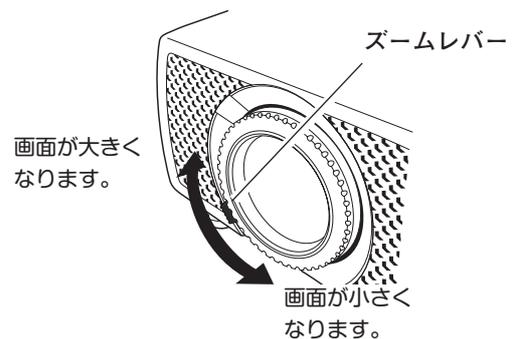


注意

画面の大きさを決める

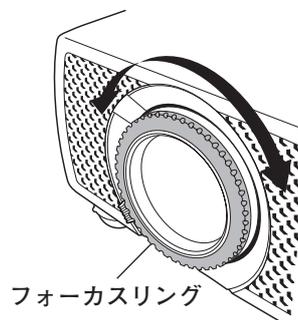
ズームレバーを上方向または下方向に回して、画面の大きさを調整をします。

- ズームレバー 上方向・・・画面が大きくなります。
- ズームレバー 下方向・・・画面が小さくなります。



フォーカスを合わせる

フォーカスリングを回して、画像がもっとも鮮明に写るように焦点を合わせます。



キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

KEYSTONE ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。

KEYSTONE ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

キーストーン

※ 表示は約4秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は青色で表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)

※ 最大の補正位置で矢印の表示は消えます。

操作パネルで操作するとき

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてキーストーンのアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンで選択すると、キーストーン調整モードに入ります。(39 ページ参照) 画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間にポイントボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

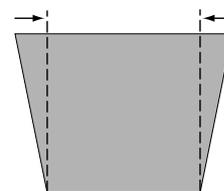
ポイント ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。

ポイント ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

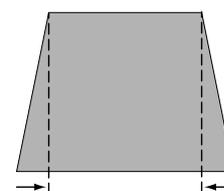
※ キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して写しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

KEYSTONE ボタン上方向、または
ポイントボタン上方向



KEYSTONE ボタン下方向、または
ポイントボタン下方向



音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

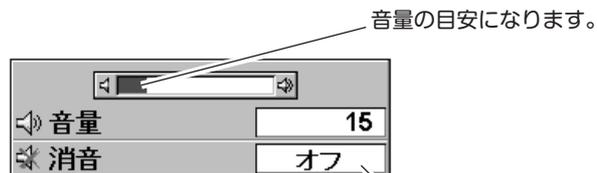
音量調節

リモコンまたは操作パネルの VOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの MUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



※ 表示は約4秒で消えます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの項目にポインタを合わせ、SET ボタンで選択します。

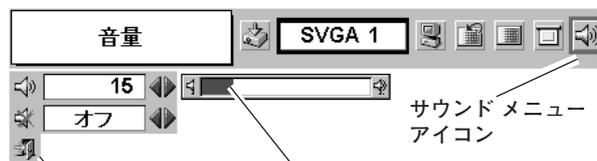
音量調節

ポイントボタンの左方向で音量が小さくなり、ポイントボタンの右方向で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。

消音

ポイントボタンの右または左方向で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

サウンドメニュー



メニューを終了します。

画面を一時的に静止させる（FREEZE）

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投写画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。

● こんなときに便利です ●

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す（NO SHOW）

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投写画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。また、NO SHOW 機能動作中に他のボタンを押すと、そのボタンの機能が働き、NO SHOW は自動解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する（P-TIMER）

リモコンの P-TIMER ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 P-TIMER ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに P-TIMER ボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMER ボタンは操作パネルにはありません。



※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

● こんなときに便利です ●

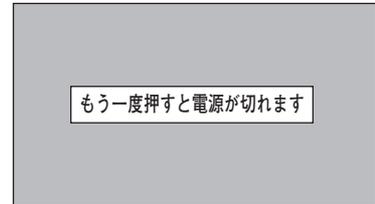
プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

電源を切る

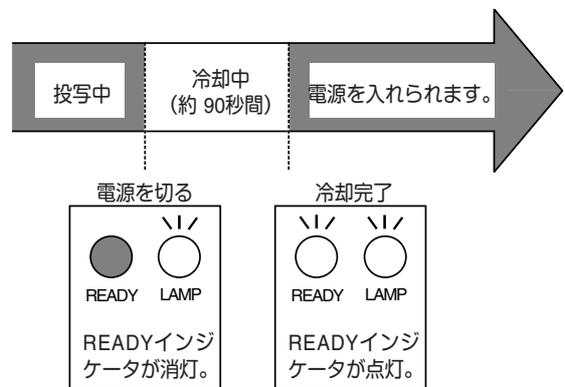
1 リモコンまたは操作パネルの POWER ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度 POWER ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の READY インジケータが消え、赤色の LAMP インジケータが明るく点灯します。

3 電源を切った後、約 90秒間は電源が入りません
電源を切った後、約 90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は POWER ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約 90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。



※表示は約 4秒間出ます。



● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、POWER ボタンで電源を切り、約 90秒経過後、緑色の READY インジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

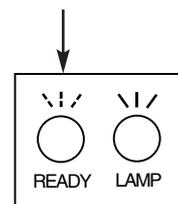
パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。5分 30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、パワーマネジメント機能が働き、電力の節約とランプの寿命を助けるはたらきをします。工場出荷時は、パワーマネジメント機能は「オン」に設定されています。

動作について

- 1) プロジェクターの入力信号が中断し、30秒以上プロジェクターが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが 5分からカウントダウンを始めます。
- 2) 5分経過するとランプが消灯し、ファンが回転し続けてランプの冷却を行ないます。ランプ冷却中は READY インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 3) ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。

パワーマネジメントモードになると、READYインジケータが点滅を始めます。

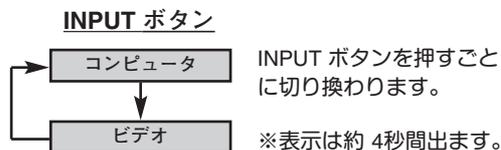


※ パワーマネジメント機能の「オン」「オフ」の設定については、40ページをさらんください。

コンピュータ入力を切り換える

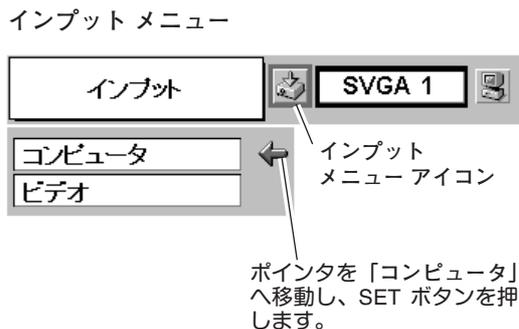
INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「コンピュータ」に切り換えます。



インプットメニューで入力を切り換える

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして「コンピュータ」にポインタを合わせ、SET ボタンを押します。



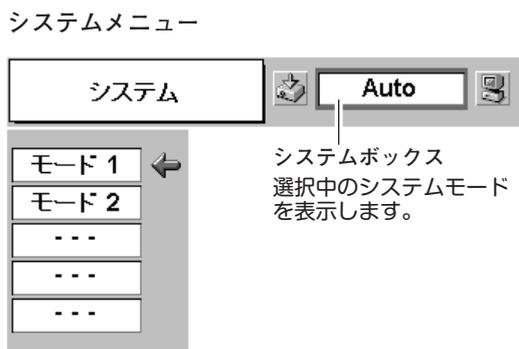
コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA...) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投写することができます。(29ページ参照)
選択されたシステム モードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投写されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(27、28ページ参照)

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(41～43ページ参照)

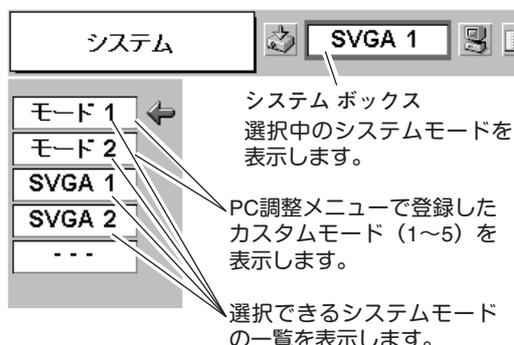
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをシステム ボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、いずれかにポインタを合わせて SET ボタンで選んでください。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(次ページ参照)

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

自動 PC 調整

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをPC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、自動 PC 調整のアイコンにポインタを合わせて SET ボタンを押すと PC 調整画面が出ますので、SET ボタンをもう一度押して自動調整してください。

自動 PC 調整機能は、リモコンの AUTO PC ADJ. ボタンを押してもはたらきます。

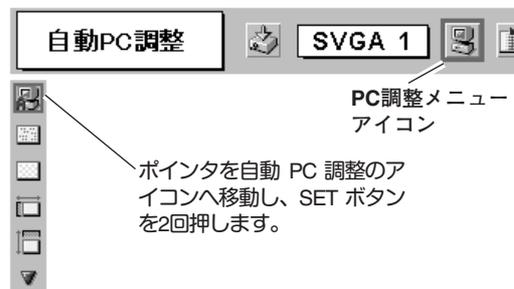
※自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。

(次ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、28ページのマニュアル PC 調整の手順3をごらんください。

※システムメニューで RGB、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。

PC 調整メニュー



マニュアル PC 調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投写されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードとして5つまで登録することができます。

※システムモードが RGB のときは、PC 調整メニューは機能しません。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをPC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポイントを合わせ、SET ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0から31まで）
※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

クランプ位置を調整します。

PC調整メニュー

自動PC調整

SVGA 1

PC調整メニューアイコン

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、SET ボタンを押します。

カスタムモードの登録状況（データあり/データなし）を表示します。

カスタムモード

トラッキング

モード1

データあり

0

1342

296

36

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、SET ボタンを押します。

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、SET ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

コンピュータ情報

水平周波数	48.5
垂直周波数	60.0

1

1024

768

オフ

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、SET ボタンを押すと、現在接続中のコンピュータの信号を表示します。



画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。



画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。



画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。



フルスクリーン

オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投写します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投写します。

※画面領域H/Vを調整した後は、フルスクリーンの調整はできません。

※システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」と「フルスクリーン」の調整はできません。

3



メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SETボタンを押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード(モード1から5までのいずれか)にポインタを合わせ、SETボタンを押します。



データ消去

ポインタをデータ消去アイコンに合わせ、SETボタンを押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポインタを合わせ、SETボタンを押します。



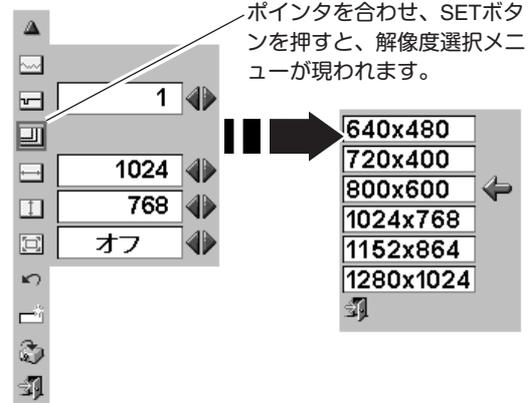
リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。



戻る

メニューを終了します。



PC調整データ登録メニュー

既にカスタムモードが登録されています。

どこに記憶させますか?

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1346	216	35	1024	768

何も登録されていません。

総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 Vを表示します。

PC調整データ消去メニュー

どのモードを消去しますか?

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1346	216	35	1024	768

メニューを終了します。

コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 12	1024 x 768	35.522	^{86.96} (インターレース)
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
RGB	————	15.625	^{50.00} (インターレース)	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
RGB	————	15.734	^{60.00} (インターレース)	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	^{86.00} (インターレース)
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	^{94.00} (インターレース)
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	^{86.70} (インターレース)
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	720p (HDTV)	————	45.00	60.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	1035i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	1080i 60(HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 9	1024 x 768	36.00	^{87.17} (インターレース)	1080i 50(HDTV)	————	28.125	^{50.00} (インターレース)
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07				

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ SXGA、Mac21、Mac、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投射するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGEボタンを押すごとに、イメージモードが「スタンダード」「ハイコントラスト」「カスタム」と切り換わります。

スタンダード

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

ハイコントラスト

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

カスタム

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポインタを合わせ、SETボタンで選びます。

スタンダード

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

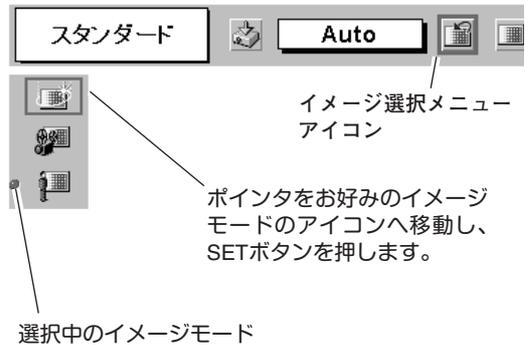
ハイコントラスト

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

カスタム

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）

イメージ選択メニュー



マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で画像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で画像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ

ポイントボタンの左方向で色が薄くなり、ポイントボタンの右方向で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い

ポイントボタンの左方向で色が紫がかり、ポイントボタンの右方向で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (赤)

ポイントボタンの左方向で赤の色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で赤の色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (緑)

ポイントボタンの左方向で緑の色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で緑の色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (青)

ポイントボタンの左方向で青の色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で青の色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

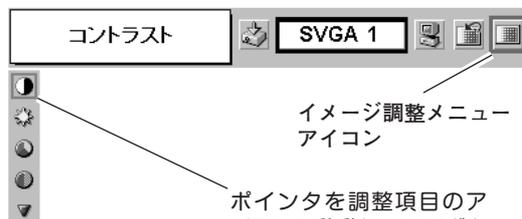
画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)

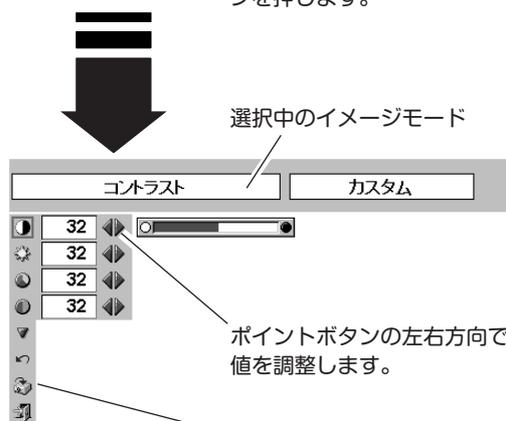
ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で画像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

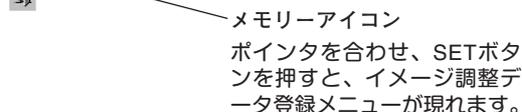
イメージ調整メニュー



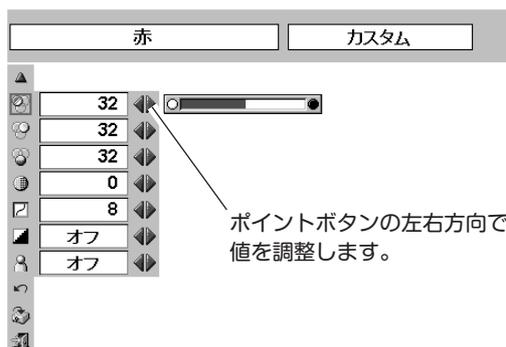
ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SETボタンを押します。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。



メモリーアイコン
ポインタを合わせ、SETボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

白黒伸張

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。

肌色補正

オンにすると肌色を美しく写します。

3 リセット

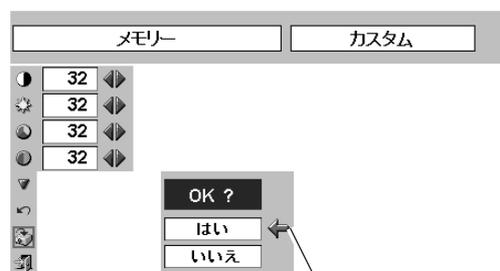
ポインタをリセットアイコンに合わせ、SETボタンを押すと、「OK？」が現われます。
「はい」にポインタを合わせたまま SET ボタンを押すと、調整した内容をキャンセルし、調整する前の状態に戻ります。
「いいえ」にポインタを合わせて SET ボタンを押すと、イメージ調整メニューに戻ります。

メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SETボタンを押すと、「OK？」が現われます。
「はい」にポインタを合わせたまま SET ボタンを押すと、カスタムモードとして登録されます。
「いいえ」にポインタを合わせて SET ボタンを押すと、イメージ調整メニューに戻ります。

戻る

メニューを終了します。



イメージ調整データ登録メニュー

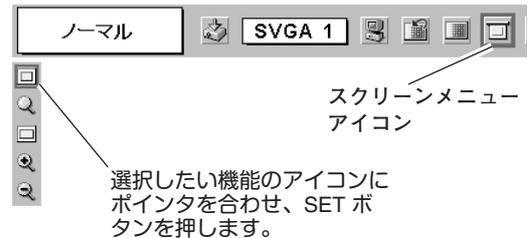
「はい」にポインタを合わせたまま SET ボタンを押すと、カスタムモードとして登録されます。

適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは 1024x768ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ノーマル

画像を有効な投写画面 (1024x768ドット) に合わせて投写します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投写します。画像サイズが有効投写画面 (1024x768ドット) よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム+」モードに入ります。



ワイド

画像を有効投写画面 (1024x768ドット) の幅に合わせて、横16 : 縦 9のワイド画面で投写します。



デジタルズーム+

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom+」表示が現われます。SETボタンを押すごとに画像が拡大します。ポイントボタンの上下左右方向で画像を移動させます。画像の移動機能は、画像サイズが有効投写画面 (1024x768ドット) よりも大きいときのみはたります。リモコンの D.ZOOM ▲ ボタンを押しても画像の拡大ができます。



デジタルズーム-

「デジタルズーム-」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom-」表示が現われます。SETボタンを押すごとに画像が縮小します。リモコンの D.ZOOM ▼ ボタンを押しても画像の縮小ができます。

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SET、ポイント以外のボタンを押します。
- ※ システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
- ※ システムメニューで RGB のシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム+/-」は選択できません。
- ※ システムメニューで 720p (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「ワイド」は選択できません。
- ※ 本機は SXGA (1280x1024ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA (1280x1024ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ XGA (1024x768ドット) 以外の画像データは、初期画面で有効投写画面 (1024x768ドット) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム+」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。
- ※ 入力信号がSXGAの場合、縮小方向へのデジタルズームは使用できません。

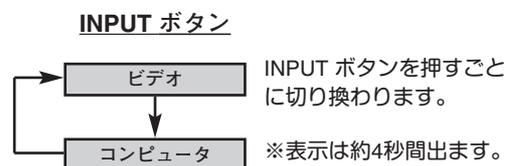
ビデオ入力

ビデオ入りに切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「ビデオ」に切り換えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。(下記参照)



インプットメニューで入力を切り換える

1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして「ビデオ」にポインタを合わせ、SETボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。

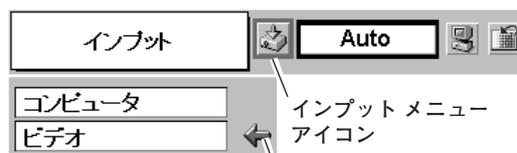
3 ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SETボタンで選んでください。

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入(信号の有無ではない)を検知して

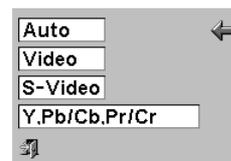
1) Y, Pb/Cb, Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Y (Video) の接続順位で入力端子を自動選択します。

希望する入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、SETボタンで選択してください。

インプットメニュー



ポインタを「ビデオ」へ移動し、SETボタンを押します。



信号選択メニュー(ビデオ)

ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SETボタンを押します。

Auto (自動)

信号を入力している端子をプロジェクターが自動で選択します。

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、

1) Y,Pb/Cb,Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Videoの優先順位でプロジェクターが入力端子への挿入を探知して接続端子を自動選択します。希望する入力端子が自動選択されないときは、ポインタを合わせ、SETボタンで選択してください。

※ カラーの映像信号を入力しても色が出ないときは、正しい信号の種類が選択されているか確認してください。

Video

一般のビデオなどからの映像信号(コンポジット映像信号)を入力するときに選択します。

S-Video

S映像信号(セパレートYC信号)を入力するときに選択します。

Y, Pb/Cb, Pr/Cr

DVDプレーヤやHDTVなどからのコンポーネント映像信号を入力するときに選択します。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをシステムボックスのアイコンに合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせて、SETボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

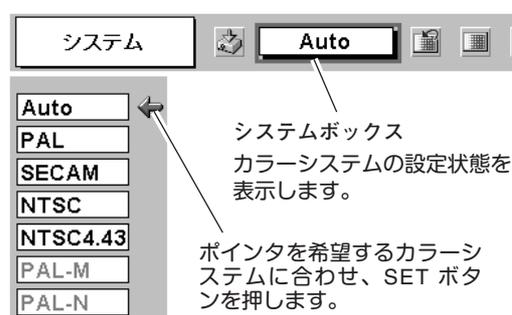
Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。
 ※ PAL-MとPAL-Nは、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、SETボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー
 (コンポジット映像またはS映像入力時)



Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

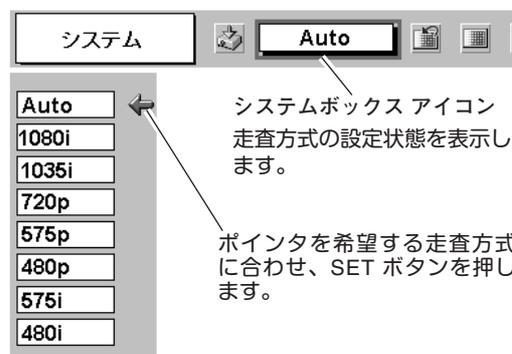
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480iの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



マニュアルでイメージ調整を行なう

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で映像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ

ポイントボタンの左方向で色が薄くなり、ポイントボタンの右方向で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い

ポイントボタンの左方向で色が紫がかり、ポイントボタンの右方向で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりになります。(0 から 15 まで)

ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。(35ページ参照)

白黒伸張

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。

肌色補正

オンにすると肌色を美しく写します。

イメージ調整メニュー



イメージ調整メニューアイコン

ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SET ボタンを押します。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

ポインタを合わせ、SET ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

ポインタを合わせ、SET ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

メモリーアイコン
ポインタを合わせ、SET ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。

3 メモリー

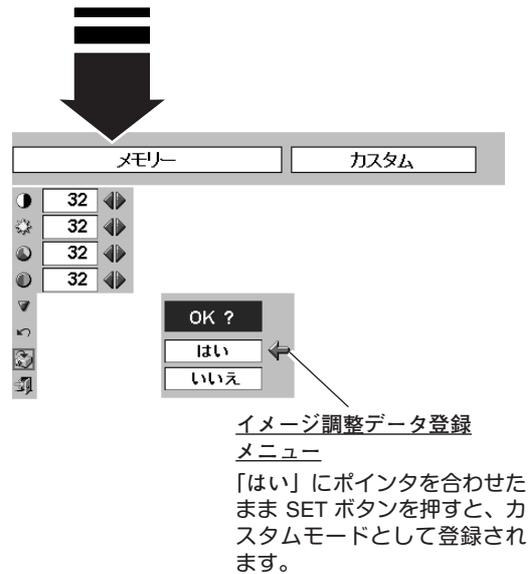
ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SET ボタンを押すと、「OK ?」が現われます。
 「はい」にポインタを合わせたまま SET ボタンを押すと、カスタムモードとして登録されます。
 「いいえ」にポインタを合わせて SET ボタンを押すと、イメージ調整メニューに戻ります。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。

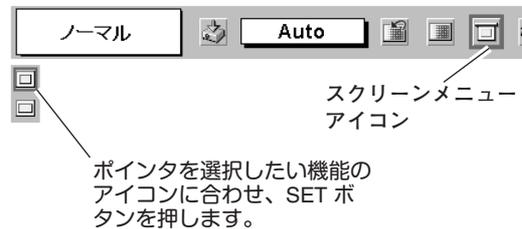


画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを 2種類の中から選択できます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横 : 縦) 4 : 3 で投写します。

ワイド

DVD プレーヤーなどのワイドモードで出力された映像信号 をアスペクト比 16 : 9 のワイド画面で投写します。

※ システムメニューで 1080i、1035i または 720p の信号 (アスペクト比 16 : 9) が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。(35ページ参照)

セッティングメニューの設定

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして設定する項目のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、中国語、ハングル語、日本語の 11か国語の中から選べます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。キーストーンを選択すると画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。ポイントボタンの上下方向で画面の台形ひずみを補正します。(21ページ参照)



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を写さずにブルーの画面を写します。



オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

- オン・・・すべての画面表示を出します。
 オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。
- ・メニューバー表示 (19 ページ参照)
 - ・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
 - ・P-TIMER 表示 (23 ページ参照)
 - ・自動PC調整時の「しばらくお待ちください」の表示
 - ・パワーマネジメントモード時のタイマー表示 (40ページ参照)



ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して写します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

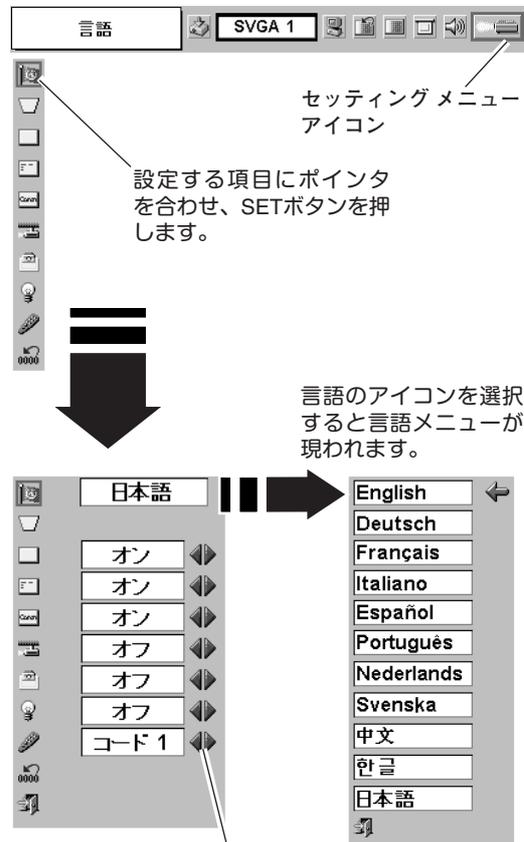
※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
 詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



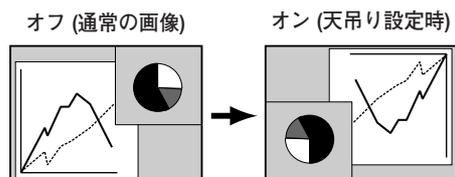
リア投写

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して写します。透過型スクリーンの後ろから投写するときに設定します。

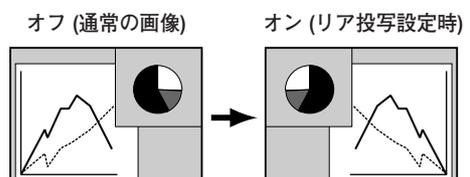
セッティングメニュー



天吊り機能



リア投写機能





パワーマネージメント

入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が 5分30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

オン・・・無信号と無操作の状態が 30秒続くと、ランプ画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が5分間続くとランプが消灯し、パワーマネージメントモードになります。
(パワーマネージメント機能とそのはたらきについて、詳しくは 24ページをごらんください。)

オフ・・・パワーマネージメント機能を解除します。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。



↑
ランプ消灯までの時間



リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作させることができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクター用 (拡張用) として「コード 2」に設定することができます。本機を2台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておく、誤動作防止になります。

コード 1・・・1台目のプロジェクター用に使用します。

コード 2・・・2台目のプロジェクター用 (拡張用) に使用します。

※ 本機 (プロジェクター) を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。リモコンの MENU と IMAGE ボタンの両方を 10秒以上押し、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。リモコン本体のコードを「コード 1」に戻すときは、前述と同じ手順を行なうか、またはリモコンの電池交換を行なうと、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。



ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACEインジケータ(黄)の点灯が消えます。



注意

光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下方向で **はい** にポインタを合わせ、SET ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。

機器をつなぐ端子

本機の側面にはコンピュータやビデオ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、41～43ページを参照して正しく接続してください。

USB 端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのUSB端子を市販のUSBケーブルでつなぎます。(43、44ページ参照)

※ この機能を使用するには、別売のワイヤレスリモコンが必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

リセット ボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

ビデオ入力端子

ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。コンポジット映像出力は VIDEO/Y へ、コンポーネント映像出力は VIDEO/Y、Pb(Cb)、Pr(Cr) へ接続します。(42ページ参照)

S 映像 入力端子

ビデオ機器からの S映像出力をこの端子に接続します。(42ページ参照)

コントロールポート端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を付属または別売のマウスコントロールケーブルでつなぎます。(43、44ページ参照)

※ この機能を使用するには、別売のワイヤレスリモコンが必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

コンピュータ 入力端子

コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。接続には付属のDOS/V用コンピュータ接続ケーブルを使用します。(43、44ページ参照)

コンピュータ音声入力端子

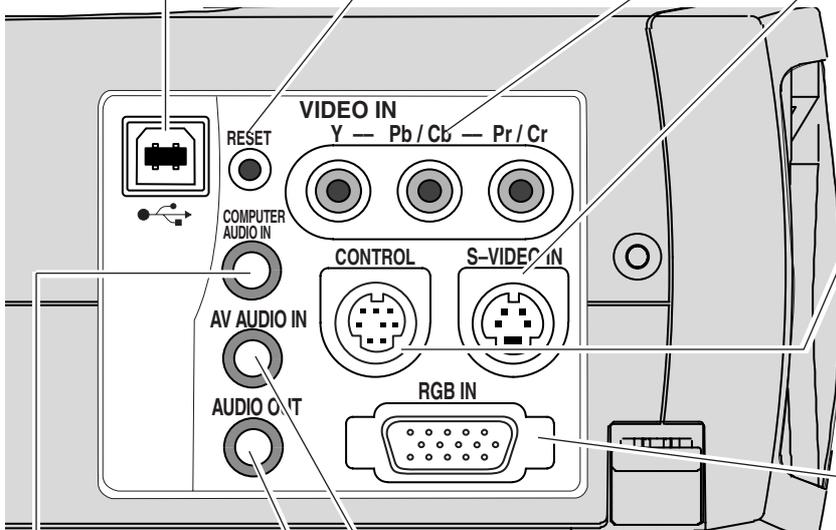
コンピュータからの音声出力 (ステレオ) をこの端子に接続します。(43ページ参照)

音声出力端子

投写中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。(42、43ページ参照)

音声入力端子

ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。(42ページ参照)



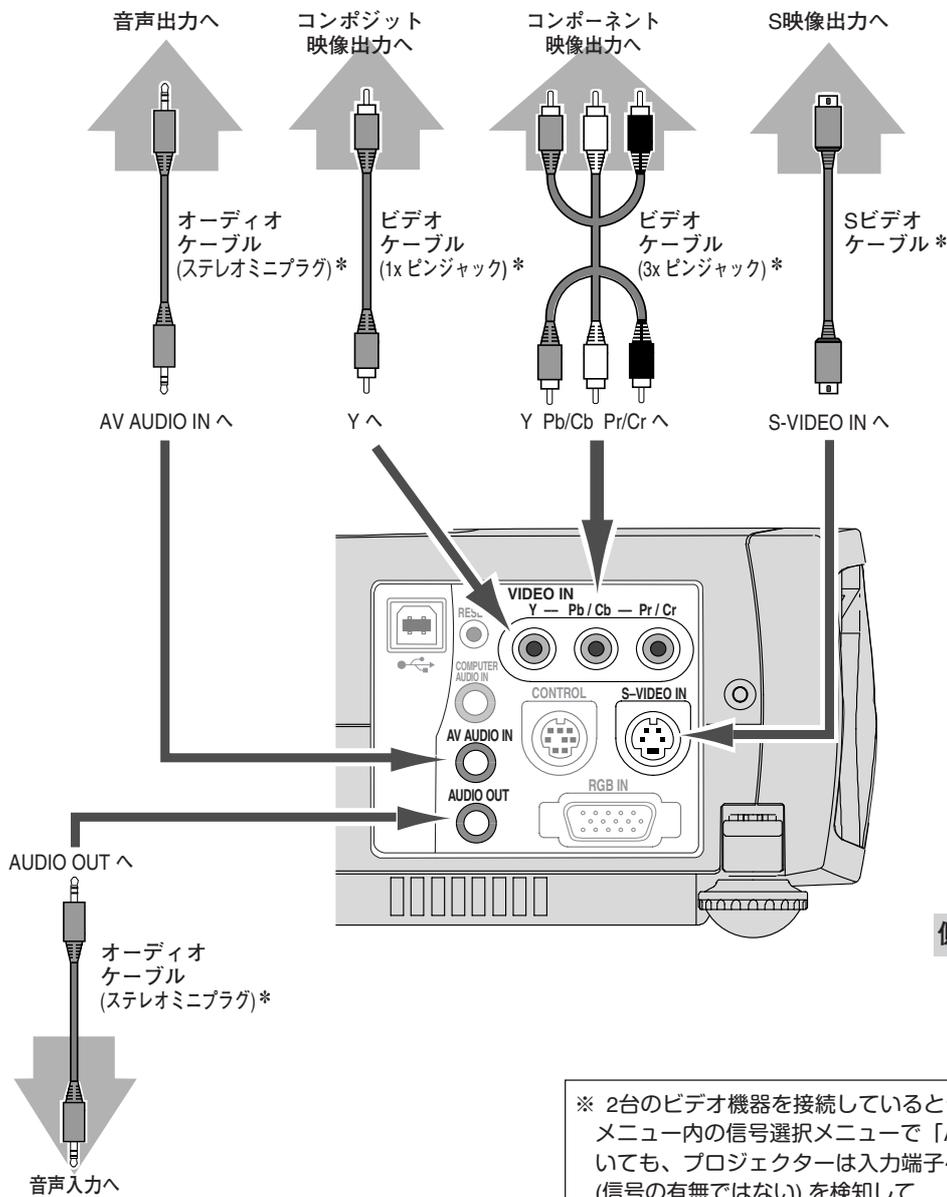
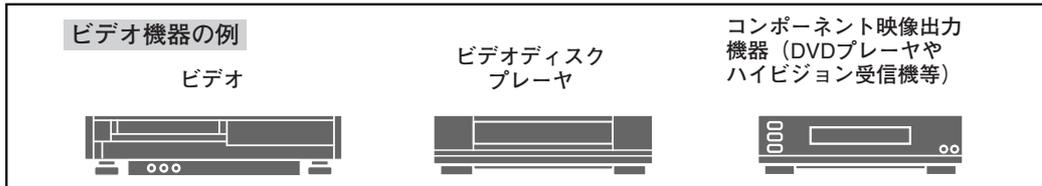
ビデオ機器を接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販のケーブルをお使いください。)

- ビデオ ケーブル (1x ピンジャック または 3x ピンジャック) *
- Sビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン) *
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ) *



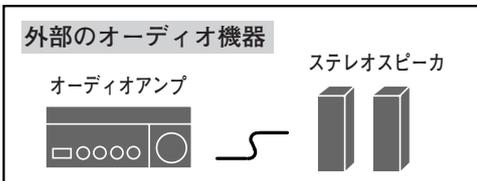
接続するときの注意:
接続するときは、プロジェクター
と外部機器の両方の電源を切っ
てから行ってください。



側面端子

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入 (信号の有無ではない) を検知して
1) Y, Pb/Cb, Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Y (Video) の接続順位で入力端子を自動選択します。

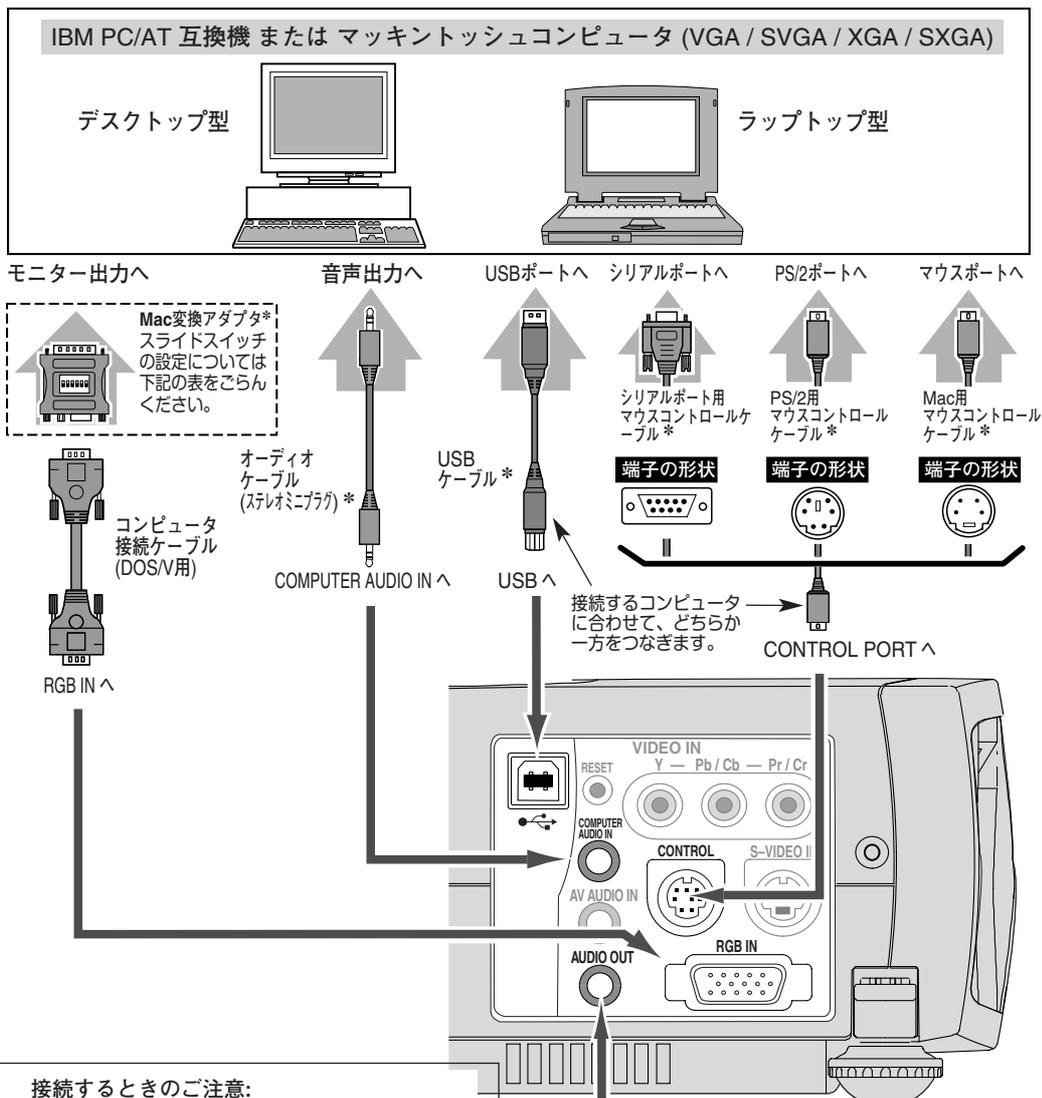
希望する入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、SETボタンで選択してください。(34ページ参照)



コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

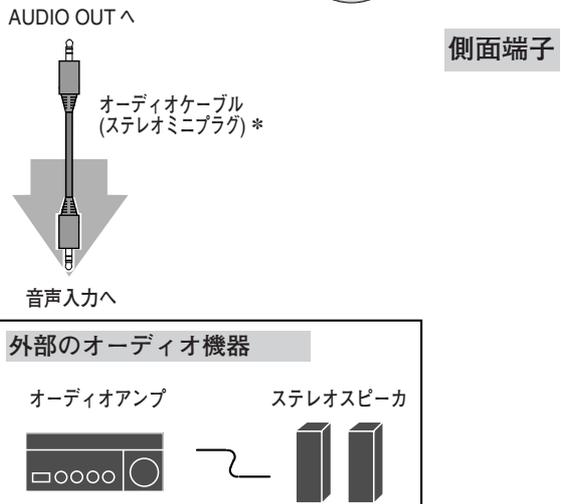
- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用)
- マウスコントロールケーブル: (PS/2用 *, シリアルポート用 *, Mac用 *)
- USBケーブル *
- Macアダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時) *
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ *)



接続するときの注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。

※注: Mac変換アダプタ (別売) について
プロジェクターとコンピュータの電源を入れる前に、接続するマッキントッシュコンピュータのモードに合わせてアダプタのスライドスイッチ (1~6) を下表のように設定してください。

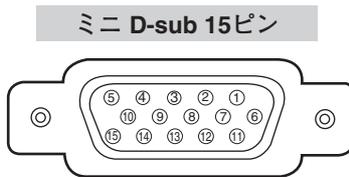
	1	2	3	4	5	6
13" MODE (640 x 480)	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
16" MODE (832 x 624)	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
19" MODE (1024 x 768)	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
21" MODE (1152 x 870)	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF



端子の仕様

RBG IN (コンピュータ アナログ入力端子)

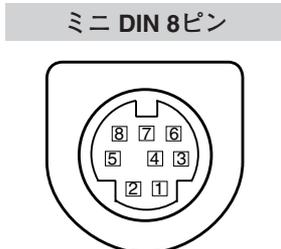
コンピュータからのアナログ (RGB) 出力を接続する端子です。接続には、DOS/V用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。マッキントッシュコンピュータを接続するときは、Mac変換アダプタ (別売) が別途必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



1	R	9	空き
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	接地
4	空き	12	空き
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	予備
8	接地 (B)		

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

接続したコンピュータのマウス操作を本機のリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート) を別売のマウスコントロールケーブルで接続します。※ この端子を使用するには、別売のワイヤレスリモコンが必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

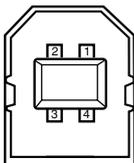


	マウスコントロールケーブルの種類		
	PS/2 (別売)	シリアル (別売)	Mac (別売)
1	-----	R X D	-----
2	CLK	-----	ADB
3	DATA	-----	-----
4	GND	GND	GND
5	-----	RTS / CTS	-----
6	-----	T X D	-----
7	GND	GND	-----
8	-----	GND	GND

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USB コネクタ (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

内部の温度上昇について

WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP.インジケータ (赤) が点滅し、保護のために自動的に電源が切れます。温度が下がるとインジケータの点滅は消えます。WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面の吸気口のエアフィルターにホコリがたまっていますか。フィルターを掃除してください。
- ・ 前面の排気口や後面および底面の吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えていることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再びインジケータが点滅して電源が切れます。

エアフィルターはこまめに掃除してください

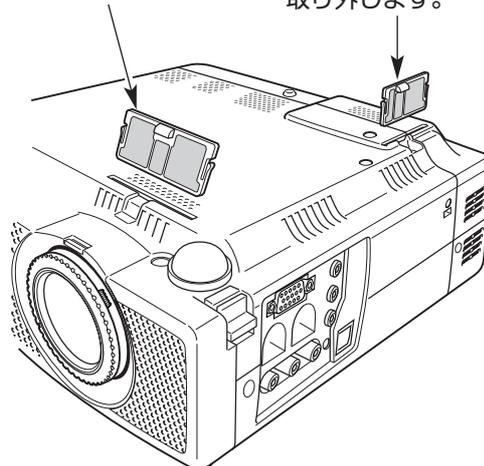
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターの両端のツメを上に取り上げて、エアフィルターを外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルターは、お買い上げの販売店にご相談ください。

エアフィルター (大)
ツメを上に取り上げて
取り外します。

エアフィルター (小)
ツメを上に取り上げて
取り外します。



●お掃除の際にご注意ください●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

光源に使われているランプの寿命が近づくと LAMP REPLACEインジケータ (黄) が点灯します。はやめに新しいランプと交換をしてください。LAMP REPLACEインジケータは、ランプを交換するまで電源「ON」(入) のときに点灯します。

光源ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

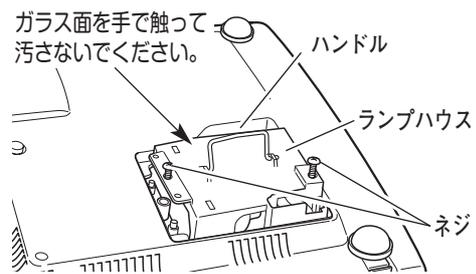
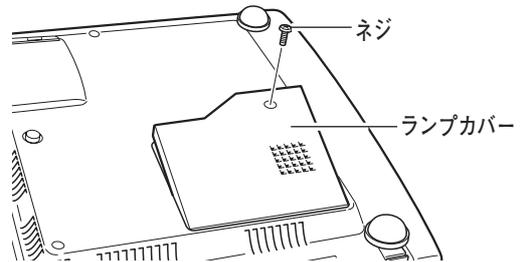
- ・交換ランプの品番：LV-LP15 (サービス部品コード：610 300 7267)
- ・プロジェクターの品番：LV-X2



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、45分以上冷却してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上冷却してください。
- 2 (+)ドライバーで1本ネジを外し、ランプカバーを外します。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACEインジケータ(黄)の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、40ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

ランプに関するご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプ（高圧水銀ランプ）が使われています。

この高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、個体差や使用条件により破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれの水銀ランプで大きな差があります。

交換時期を越えてお使いになると、破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、ランプが正常に点灯している状態でもすみやかに新しいランプと交換してください。

高圧水銀ランプが破裂すると、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの通風口から出たりすることがあります。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目や口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目や口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

高圧水銀ランプが破裂すると、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱することがあります。サービスマンもしくは販売店に、ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。また、お客さまご自身でランプ交換やランプハウス内部の清掃をされるときは、ガラスの破片に十分ご注意ください。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。POWER ボタンを押してみてください。 ● READY インジケータ<緑>が消えているときは、POWER ボタンを押しても電源が入りません。(20、24 ページ参照) ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、POWER ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。(45ページ参照)
画像が写らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(41～43 ページ参照) ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は写せません。(20ページ参照) ● レンズ キャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(25、26、34、35 ページ参照) ● 使用温度範囲 (5℃～35℃) からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(41～43 ページ参照) ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTE ボタンを押すか、VOLUME + ボタンを押してみてください。
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(21ページ参照) ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(12ページ参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投写しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(13、21 ページ参照) ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(17ページ参照) ● 電池がなくなっていますか。新しい電池と交換してください。(17ページ参照) ● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(14ページ参照) ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(17ページ参照) ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(40ページ参照)

仕 様

プロジェクター本体

型 名	LV-X2
方 式	三原色液晶シャッタ投写方式
光学方式	ダイクロイックミラー分離・プリズム合成方式
液晶パネル	サイズ：0.7型 x 3、アスペクト比 4 : 3 駆動方式：ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式 画素数：786,432画素 (1,024 x 768) × 3枚 総画素数 2,359,296) 配列：ストライプ
投写レンズ	ズーム (1.4倍)、f=20.3 ~ 28.2mm、F=1.6 ~ 2.0
光 源	132W UHP
画面サイズ (投写距離)	最小 29型 ~ 最大 200型 (1.1 ~ 8m)
色再現性	フルカラー (1,677 万色)
明る さ	1,100 ANSIルーメン
周辺光量比	85%
コントラスト比	300 : 1 (全白 / 全黒)
音声出力	モノラル 1W
スピーカ	2.0 x 3.5 cm (楕円形)
対応走査周波数	水平：15~100KHz、垂直 50~100Hz
表示可能解像度	RGB信号入力時：1,024 x 768 (1,280 x 1,024 コンプレッションまたはパンニング表示) ビデオ信号入力時： NTSC : 550 TV本 (S映像入力時) PAL / SECAM / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N : 550 TV本 (S映像 入力時)
コンピュータ入力	アナログRGB入力：ミニD-sub 15ピン x 1 音声入力：ステレオミニジャック x 1
ビデオ入力	ビデオ入力 1系統 映像：RCA x 3 (Video/Y, Cb/Pb, Cr/Pr)/ S映像 x 1 音声：ステレオミニジャック
制御入出力 / その他	マウスコントロール ポート：ミニDIN 8ピン x 1 USB ポート：USB シリーズ B x 1 音声出力 (コンピュータ/ビデオ兼用)：ステレオミニジャック
使用温度	5 ~ 35 °C
電 源	AC100V (±10V)、50/60Hz
消費電力	210W (リモコンで電源を切ったとき 13W)
本体寸法	幅260×高さ76×奥行244.5 mm (突起部含まず)
質 量	2.9 Kg

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99%以上です。投写中 0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電 源 DC3.0V リチウム電池 1個使用 (型名：CR2025)
到達距離 約5m (受信部正面)
本体寸法 幅54×高さ7×奥行135mm
質 量 36g (電池を含む)

付属品

- ・リモコン 1個
- ・リモコン用 リチウム電池 1個
- ・電源コード 1本
- ・コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用) 1本
- ・使用説明書 1冊
- ・保証書 1枚
- ・キャリーバッグ 1枚
- ・レンズキャップ 1個
- ・レンズキャップ用ヒモ 1本
- ・レンズキャップ用ネジ 1個

別売品

- ワイヤレスリモコン 品番：LV-RC01
- マウスコントロールケーブル (PS/ 2用) 品番：LV-CA25
- マウスコントロールケーブル (シリアル用) 品番：LV-CA26
- マウスコントロールケーブル (Mac用) 品番：LV-CA27
- Mac変換アダプタ 品番：LV-AD02
- 天吊り金具 品番：LV-CL06

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡します。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。消耗品類（光源ランプ、エアフィルター）は、保証の対象とはなりません。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記弊社お客様相談センターにご相談ください。

■修理を依頼される前に

48ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番、機番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先に商品を引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご希望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取修理サービスおよび代替機の貸し出しは、下記弊社お客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

また、代替機については、在庫状況によりご希望にそえない場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！ (熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

<p>このような 症状は ありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。 	➔	<p>ご使用 中止</p>	<p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。</p>
---------------------------------	--	---	-------------------	--

お客さまメモ	
品番	LV-X2
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター (全国共通番号)



0570 - 01 - 9000 (商品該当番号：84)

※全国64箇所にある最寄りのアクセスポイントまでの電話料金でご利用になれます。

お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号(84番)または(プロジェクタ)とお話してください。

【受付時間】〈平日〉9:00～12:00、13:00～17:00 (土曜および祝祭日を除く)

※PHS または海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用下さい。

※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。